

よこみね緑地のナラ枯れ被害と対応

2023年3月 水辺のある里山を守る会 織野

1. ナラ枯れとは：

コナラやクヌギの樹の幹に、**カシノナガキクイムシ**が孔をあけて入り込み、**ナラ菌**を感染させて樹が根から水を吸い上げるのを妨げ、樹を枯らせてしまいます。又、幹の中で繁殖し越冬した多くの幼虫は6月過ぎに成虫になって飛び出し、他の多くの樹に拡散させます。

2. よこみね緑地のナラ枯れ被害

ナラ枯れは全国的に被害が広がっていますが、よこみね緑地でも3年程前から、コナラの樹などに被害が出始め、多摩市との境のよこやまの道沿いでも被害が見られます。道沿いや人の通る箇所のコナラが枯れると倒木で危険なので、川崎市に伐採等の対策を提言しています。

水辺のある里山を守る会も被害木の伐採や駆除シートを巻き、伐採した跡にコナラ、クヌギなどの落葉樹の植樹を進めています。

3. 伐採したナラ枯れ被害木

ナラ枯れ木伐採：川崎市
2022年9月 3本

ナラ枯れ木伐採：水里
2022年2月 5本



急斜面の伐採作業



伐採後の切り株



ナラ枯れ木伐採：川崎市
2022年1月 18本

植樹予定 2023年3月